

多文化共生に係る県民アンケート結果

長野県国際課

- 1 目的 多文化共生に関する県民の意識を把握し、県の多文化共生施策に反映する。
- 2 方法等 平成 25 (2013) 年度 第 3 回県政モニターアンケート (8 月) で実施。
質問は 3 項目。回答数 827 人 回収率 68.0%

3 アンケート結果から見えてくる現状と課題

(1) 何らかの関わりが「ある」が約 3 割

(外国人住民数 31,398 人 人口比 1.5% H24(2012).12 現在)

(2) 「外国人とともに暮らす社会」は「望ましい」が約 7 割 前回調査 ((H20 (2008)) 38.2%) より増加 → 外国人と共生していくことに理解が広がっている。

(3) 「県や市町村が力を入れるべき取組」

- ア 日本で生活していくために必要なルールを周知する、といった支援施策が最も望まれている。
- イ 日常生活で外国人との関わりがある人ほど、外国人との交流や外国人の地域社会への積極的な参画を促す施策を期待する一方、日本人に対する多文化共生に関する意識啓発や国際理解の促進に関する施策を望んでいる。

4 結果

(1) 「日常生活での外国人との関わり」(単数回答)

■何らかの関わりが「ある」が約 3 割

| | |
|---------------------------|--------|
| ①あいさつする程度の関わりがある(職場の同僚 等) | 16.3 % |
| ②とてもある(友人、知人 等) | 11.9 % |
| | |
| ③関わりは全くない | 35.8 % |
| ④関わりはほとんどない(顔を知っている程度 等) | 34.6 % |

(2) 「外国人とともに暮らす社会」(単数回答)

■何らかの理由で「望ましい」が約 7 割

| | |
|----------------------------------|--------|
| ①外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増えるので望ましい | 33.6 % |
| ②地域で外国人と交流できるので望ましい | 21.4 % |
| ③地域の経済的な発展の維持につながり、望ましい | 12.6 % |
| | |
| ④習慣や文化の違いから外国人とトラブルが起こるので、望ましくない | 6.4 % |
| ⑤日本人の雇用を脅かしたり、低賃金化につながるので、望ましくない | 3.8 % |
| ⑥治安が悪化するので、望ましくない | 3.8 % |
| ⑦わからない | 16.4 % |

(3) 「県や市町村が力を入れるべき取組」(複数回答)

■生活に必要なルールや習慣を周知する、多言語による情報提供などの生活支援施策が多く、日本語の学習を支援するなどの自立を支援する施策への期待もある。

| | |
|-------------------------------------|--------|
| ①外国人に対し、日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどについて周知する | 64.9 % |
| ②外国人に対する相談体制や多言語での情報提供を充実する | 43.8 % |
| | |
| ③外国人に対し、日本語の学習を支援する | 38.6 % |
| ④外国人が地域社会に積極的に参画するよう促す | 28.7 % |
| | |
| ⑤日本人と外国人の交流の場をつくる | 45.5 % |
| ⑥日本人に対し、多文化共生に関する意識啓発や国際理解を促進する | 33.1 % |

ほか

【多文化共生社会について】

多文化共生とは、国籍や民族などが異なる人々が互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築きながら地域社会の構成員として共に生きていくことです。

現在、長野県には約3万人の外国人が暮らしています。

県では、こうした外国人を含め、県民一人ひとりが、安心して暮らし、自分の能力を十分に発揮し活躍できる社会の実現を目指しています。

このため、多文化共生に関する県民の皆様のお考えをお伺いします。

問11 あなたは、日常生活で県内に住んでいる外国人とどのような関わりがありますか。または、ありましたか。あてはまるものを選んでください。(〇は1つ)

- ① とてもある。(例 知人、友人、親戚等である。)
- ② あいさつする程度の関わりがある。(例 職場の同僚、よく行く店で働いている。)
- ③ 関わりはほとんどない。(例 顔を知っている程度、近所に住んでいる。)
- ④ 関わりは全くない。

問12 あなたは外国人とともに暮らす社会についてどう思いますか。あてはまるものを選んでください。(〇は1つ)

- ① 外国の言葉・文化・習慣を知る機会が増えるので望ましい。
- ② 地域で外国人と交流できるので望ましい。
- ③ 地域の経済的な発展の維持につながり、望ましい。
- ④ 日本人の雇用を脅かしたり、低賃金化につながるので、望ましくない。
- ⑤ 習慣や文化の違いから外国人とトラブルが起こるので、望ましくない。
- ⑥ 治安が悪化するので、望ましくない。
- ⑦ わからない。

問13 あなたは、外国人とともに暮らしやすい社会にしていくためには、県や市町村はどのような取組に力を入れるべきだと思いますか。あてはまるものを選んでください。(〇はいくつでも)

- ① 外国人に対し、日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどについて周知する。
- ② 外国人に対する相談体制や多言語での情報提供を充実する。
- ③ 外国人に対し、日本語の学習を支援する。
- ④ 日本人と外国人の交流の場をつくる。
- ⑤ 企業に対し、外国人の労働環境の改善を促す。
- ⑥ 外国人の子どもに対する教育を充実させる。
- ⑦ 外国人に対する医療・保健・福祉分野の施策を充実させる。
- ⑧ 日本人に対し、多文化共生に関する意識啓発や国際理解を促進する。
- ⑨ 外国人が地域社会に積極的に参画するよう促す。
- ⑩ わからない。
- ⑪ 特にない。